

分かち合い、共に未来を創造する子どもたちをめざして…



創造活動だより 6月号

学級創造活動Q&A

今年度も、個人追究を核とする学級創造活動が始まりました。学級創造活動は、子ども達一人一人が自分の「もっと知りたい」「追究してみたい」ものを選び、自分でテーマを決めて活動を進めていきます。テーマによっては、何度も同じ活動を繰り返しているように見えたり、完成された表現物が大人からみると稚拙に思えたりすることがあるかもしれませんが、活動の内容が大事なのではなく、自らがテーマを設定し、自ら調べ、自ら考え、他者に関わりを求め、解決していく過程こそが重要なのです。その過程に目を向け、長期的に子どもの成長を見取っていきます。



Q1 学級創造活動でどんな力が身につくのですか？

A1 本校で目指している「学び続ける力」「関わる力」「創造する力」が養われると考えています。自分でやりたいことを何とかして達成させようとするため、困難なことがあっても自分で乗り越えようとしています。子ども達はうまくいかない原因を考え、困ったときには友達に相談しながら新しい方法を生み出します。それを繰り返す中で、3つの資質・能力が養われると考えています。全責任を自分でもち、自分一人ですべて何とか乗り越えるという経験そのものがとても大切になってき



Q2 個人追究のテーマを変えることはできるのですか？

A2 個人追究のテーマを変えることはできます。発達段階にもよりますが、低学年では自分の興味のあることが移り変わりやすく、調べたいことや知りたいことが変わっていくことがあると思います。その時には、「どうしてそのテーマにしたのか」「どんなことができそうか」と理由や見通しを問うたりして、その子の思いをしっかりと確認するようにしていま



Q3 保護者はどんなことができそうですか？

A3 これまでもたくさんの保護者の方が子ども達の活動に協力してくださっています。例えば、材料と一緒に考えてくださったり、休みの日に体験や見学に行ってくださいたり、時には子ども達の活動の壁をあえてつくってくださっている方もいらっしゃいました。まずは、お子様の活動のお話を聞いていただくことで、何かできそうなことが見え

